

太田市自分ごと化会議 2024

第 4 回会議 議事概要

日時	2025 年 2 月 1 日（土）9 時～12 時
場所	太田市役所 9 階 会議室 9A
コーディネーター	構想日本 秋元 真彦

凡例）コ：コーディネーター、委：委員、構：構想日本スタッフ、市：市職員

議事概要	
■議論	
■第 3 回までの議論の振り返り	
（省略）	
■提案書素案全体への意見	
コ	提案書全体への意見をもらいたい。大きく 3 つのグループ分けて 5 つの提案がある。 この <u>区分けや全体の構成について、意見があれば発言してほしい。</u>
委	提案 2 と提案 3 を一緒にしても良いのではないか。提案を 5 つに分けることで提案 1 つ 1 つのボリュームを増やさないようにしているのだと思うが。
委	提案 4 に、わくわくポイントとあるが、もっと地域の人に知ってもらうには、使いた くなる仕組みが必要。そのため、提案 4 は、提案 3 と一緒にしても良いのではないか。
コ	提案 4 の「1 人ひとりの行動」と組み合わせるために「使いたくなる仕組み」を提案 3 から切り離して、提案 4 に入れ、提案 3 はアプリの話で独立させるということか。
委	提案 1 と提案 2、3 はグループを分けた方が良い。提案 1 は「使いたくなる」という より、「知ってもらうにはどうしたら良いか」という観点だと思う。
委	提案 3 の「それぞれ」は何を指しているか。
コ	基本的に「それぞれ」とは、住民－地域－行政という意味である。
委	提案書デザインについて、箇条書きとなっている提案の横に達成度を測れるチェッ クボックスを作ると良いのではないか。

- 委 重複している部分がある。会議のテーマは「誰でも気軽に使える OTACO」だが、このテーマを達成できたかという疑問。年末のキャンペーンは予算上限に達したか。
- 市 達していない。
- 委 購入上限を5万円にすれば、上乗せも1万ポイントになるので、購入者も増えたと思う。提案書自体は、細かいところをクリアしようと思えるので良い。
- 委 提案3が達成できれば、提案1、2は自然についてくるのではないか。OTACOを使ってみたが、使いづらかった。そのため、使い易さを先行したら良いと思った。キャンペーンのお金をシステム開発に割り当て、みんなが使い易い OTACO を作るべき。JCBなどのカード会社とコラボして、ポイントの還元などを行っていけば良い。
- 委 提案書の文字が多く、見るのが嫌になる。改めて見返すと同じことが何度も書いてある。今までの委員の発言を取り上げているのだと思うが、そういう気遣いはいらない。PowerPoint のようにぱっと見て分かるようにすれば良いと思う。
- コ 提案内で重複するものはまとめている。提案間では似た意見はどうしてもでてくるが、まとめたほうが良いか。
- 委 そうであれば、定義の様な形で”提案0”としてまとめた方が、もっと見やすくなる。この会議に出て OTACO が分かったが、気をつけて見ないと のぼりもわからない、PR の仕方が根本的に違うと思う。PR も民間に委託した方が良いのではないか。
- 委 文字数、情報が多いと感じたので、似たところはまとめた方が良い。読みやすさという点では、世代別で表現するなど細分化すると読み込みやすいのかなと。
- コ 提案2でいえば、行政の中でも子育て世代向け、高齢者向けの提案という分け方があっても良いということか。
- 委 OTACO には、面倒くさい、使いづらいというイメージがあるので、それを払しょくしないと次には進まない。1%まちづくり事業で OTACO を取り上げるのも良い。
- コ 1%まちづくり事業とはどんな事業か。
- 市 地域の環境整備などの公共的な活動に取り組むときに、市から補助が出るもの。

委 市の広報に OTACO の利用期限が迫っている旨の記事が載っていた。期限があると OTACO よりも現金を持っていた方が良いと感じる人もいると思う。期限を設定する必要はあるのか。

市 行政的には期限切れはどうしても来てしまう。逆に期限を設けることで、貯蓄に回らず確実に使ってもらえるというメリットもある。

コ 行政には会計年度独立の原則があり、1 年間のお金はその年度の中で使うという原則がある。期限を設けないと、原則から反することになる。

■各章の点検（◆みんなが使いたくなる OTACO）

コ まずは「みんなが使いたくなる OTACO」の提案 1～3 について考えていきたい。まとめた方がよい意見、実際の発言とニュアンスが異なる意見、意図と異なる意見、そして新しい意見があればいただきたい。

委 提案 1 について、OTACO の PR を若い人向けに考えた方がよい。これからを担う中高生を中心に考えていけば、その人たちの年齢が上がった時に広まっていく。

委 歴史の中で各藩で出していた藩札など、地域でしか使えないお金があったと思う。歴史の授業の一環で、太田市でしか使えない地域通貨を紹介するなど、子どもたちの勉強を通じて伝えていく方法もある。

委 PR の前提として、使い易さに着目して、カード利用可能店舗を増やすことが必要。加えて、お小遣いを OTACO のプリペイドカードで支給するのはどうか。カードを支給すれば、利用可能店舗も増え、年配の方や小中学生も利用しやすくなる。学生がチャージすると還元率が上がる仕組みなどターゲットを絞って考えると色々なアイデアが出てきやすい。

委 提案 1 行政⑬は、提案 2 に入れても良いのではないか。

提案 1 その他①は、OTACO の便利さにつながる部分だから、提案 3 が良い。

提案 2 行政⑦は、PR の話につながるので、提案 1 でも良い。

委 提案 3 私たち住民①②④⑤⑥は、買い物を OTACO で支払うという点で、同じなので、まとめてよい。また、⑦⑧も同じなので、まとめてよい。

提案 1 地域⑫は地域よりも行政がやった方がよいのではないか。

提案 1 行政⑮について、自分も転出者の一例だが、わざわざ OTACO を使って買い物

をすることに意味を感じられない。だから、「転出した人」を抜いた方が良い。
提案2 私たち住民②は、ちょっと変わった人なんじゃないかと。住民が働きかけても、対応する人はきっとアルバイト。その人に、導入するように言っても意味がない。

コ 「転出した人」とは、転出した大学生が地元に戻った時に使えるタイミングがあるという話だったと思う。

委 キャッシュレスだとしても、PayPay などをを使うのが基本。転出して戻ってくる人も PayPay などがメイン。OTACO はポイント還元もないので使わないと思う。お金をかけて転出した人への PR をするよりも、キャンペーンなどに充てる方が良い。

コ あと、提案2 私たち住民②は、前提に「知り合いの店」「よく行く店」というニュアンスが含まれていたと思う。それを追記して残すべきか、消した方が良いか。

委 OTACO を知らないで導入していないことはないのではないか。店が考えた上で導入していないと考えると、住民が導入を勧める必要性を感じない。わざわざ入れる必要はない。

委 提案1 行政⑨について、「子育て世代（20代～40代の母親）」ではなく、「20代～40代の子育て世代」とするべき。

■各章の点検（◆OTACO の新たな使い方を考える）

コ 続いて提案4について考えてほしい。この部分は1%まちづくり事業とも親和性が高いと思っているので、検討してほしい。

委 モデル地区では、道をきれいにする、指定日以外はゴミを捨てないなどの活動をしてきた。今はあまりやっていないと聞く。だから、OTACO を地区に配布して、地区の人が OTACO を活用しながら、環境整備やまちづくりをするのも良い。
地域④は、行政だと思う。

コ 一つ目の意見は、活動費を OTACO で渡すのか、支払いツールを OTACO にするのか。

委 支払いツールを OTACO にする。OTACO を行事などに使用すれば、OTACO の認知度向上にもつながる。

コ 1%まちづくり事業の活動費をまるまる OTACO で渡すということか。モデル地区を

設定し、1%まちづくり事業のような形で、事業費をOTACOで渡して、活動してもらえば、OTACOのPRにつながり、地域の改善活動にもなる。そしてOTACOは太田市でしか使えないので、経済の発展にもつながる。

委 地域④は行政にあたるのでは。行政④⑦は利便性を高めるための仕組みづくりであるので、提案3に該当するのではないか。

コ 地域④は「バスケットボールチームが」という話だったが、改めて精査・検討をしたい。行政④⑦行動変容を促すうえでの仕組みづくりだと思うので、それも踏まえて精査・検討したい。

委 提案4に「ボランティアに報酬」とあるが、ボランティアに報酬が発生すると、ボランティアではなくなってしまう。またカードで支給となると1,000円は多く、支給の仕方が難しい。そこで、ボランティアへの報酬ではなく活動への報酬とした方が良いのではないか。

委 子どものスポーツチームが清掃など地域のための活動をしたときに、運営チームに運営費としてOTACOを支給するのが良いのではないか。

■各章の点検（◆地域のありたい姿を目指して）

コ 続いて、提案5について考えてほしい。

委 中高生が進学・進級したらポイントがもらえるなど、若者へのアプローチがあっても良い。

委 行政の財源の記述について、市の公有財産である余った土地や使っていない建物を売却することで、民間の固定資産税の収入が増えるのではないか。
また、提案3地域⑨について、財源の話であるなら、提案5行政のところで良いと思った。財源を増やすことで、市民に還元していけば良い。

コ ネーミングライツを募集する行政と、太田市のためにネーミングライツに応募する地元企業という二つの考え方ができるのではないか。提案3では地元企業の視点、提案5では行政視点の意見を入れるのはどうか。

委 それで良いと思う。

委 提案5とOTACOを絡ませる方法としてふるさと納税が良いのではないかな。返礼品としてOTACOを受け取れるようにするのはどうか。

委 私たち住民②と行政③は1つにまとめて行政に入れてしまって良い。
行政②は、本当に安全安心につながるのだろうか。

委 千代田町はサントリーの金麦をふるさと納税の返礼品としており、納税額も多い。太田市にもサッポロビールの工場がある。そこで作っているものを返礼品にできると良い。

以前は駅前にドン・キホーテがあり、電車の待ち時間に立ち寄りしていたが、今は時間をつぶせる施設がなくなってしまった。何とかならないかと思っている。

委 太田市の魅力を最大限に活かすために、生品出身の斎藤佑樹や、飯塚町の埴輪、世良田東照宮のPRをしていくことはできないか。

■まとめ

コ 今回の会議での意見は適宜反映をしていきたい。
(省略)

■会議全体の振り返り

コ この会議に参加しての感想と「これやります宣言」を1人ずつお願いしたい。

委 OTACOについて知れて良かった。同年代の人としか話す機会がなかったが、この場で色々な年代の方と話をして自分の見識も広げられたので良かった。まだOTACOを使ったことがないので、今年中に1回でもOTACOを使えたらと思う。

委 第1回会議で太田市内の美味しいお店を知れたので良かった。OTACOについて、名前を知っている程度だったが、この会議で使い方も分かったのでまずはアプリを入れたい。

委 自分の考えだけでなく、色々な立場の人から意見が聞けるのは貴重だった。もう身近な人何人かにOTACOをダウンロードしてもらった。これからも、OTACOの宣伝をしていきたい。そのためにも、お得になるキャンペーンをお願いしたい。

委 プレミアを少しでも多くつけてもらえたらと思って参加した。通常時、1%でも良いからポイントをつけてもらえると良いと思った。良い提案書ができたので、参加して

良かった。キャンペーン時に OTACO を使っていきたい。

委 地域の課題に対して当事者意識が芽生えたとし、OTACO を調べる中で太田市のことも知れて貴重な機会だった。親や友人など身近な人へ PR をしていきたい。

委 世代もバラバラの無作為に抽出された市民と話ができ面白かった。OTACO のことも、この場に来なければ深く考えなかった。自分の意見も市に反映してもらえるとありがたい。OTACO は大型店での使用が多いが、これからは地元に根差した店舗で使いたい。

委 会議は終了してしまうが、継続して委員にして欲しい。ポスター作りに携わりたい。

委 とても楽しかった。OTACO は知っている程度だったが、色々な方が努力をしていると知った。この取り組みを長く続けるために何かできたらと思うし、キャンペーン時以外でも関心を持ちたい。今、自分が始めようとしていることがボランティアにつながるので、OTACO と絡めて考えられたらと思う。

委 OTACO について色々勉強させてもらった。個人的にはシステムがもう一息だと思う。

委 会議に参加したが、やはりアプリ入れないと思う。カードは使ってみようと思う。

委 自分ごととして OTACO を掘り下げる機会はなかったので、行政の方の思いや市民の方の意見を聞くことができ、楽しく過ごせた。友達や家族、同僚に OTACO のメリットを伝えていきたい。

委 自分なりに知識を得ることができ、意義のある時間が過ごせた。周りの人に OTACO をアピールして、最低でも 1 人には OTACO を使ってもらえるようにしたい。

委 様々な世代の人と話をすることがなかったので、良い機会になった。自分にはない意見を聞く機会もあり、新たな発見となったし、これからは OTACO について知っていきたいと思った。アプリを先週入れてみたので、それを使ってみたいのと、家族に OTACO の使い方について聞かれたので教えたい。

委 太田愛のある人や行政の人と太田市をより良くするための会議ができて良かった。工務店を営んでいるので、リフォーム補助金での行政ポイント支給時に OTACO の使い方を説明するなどして、まちづくりに協力したい。

■産業政策課からコメント

コ 続いて、産業政策課からコメントをお願いしたい。

市 昨年4月から人事異動で産業政策課に配属された。1年前までは利用者の立場からOTACOの使い勝手の悪さを感じていた。異動が決まった時に、色々変えられたらと考えていたが、会議で話を聞きながら、その意欲はどこへ行ってしまったのかと思い知らされた。もう一度、皆さんが作った提案書を見ながら頭を柔らかくして、喜んで使ってもらえるようなOTACOを目指したい。

市 自分に何ができるか考えるには難しいテーマだったと思うが、考えて意見してもらえて本当にありがたい。皆さんの意見から、できそうなものをピックアップしたので、実際にやっていきたい。利用が多い人の中から抽選して景品を与える、チラシのデザインコンテストなど、いつもOTACOについて考えている自分でも考えつかなかった意見があったので参考にしたい。

市 皆さんの意見を聞いて良かった。私が配属されてからOTACOが本格的に始動し、キャンペーンを4回行った。その度にアンケートをとり、色々な意見をもらってきたが、幅広い世代の方の生の意見が聞けるこの場は貴重だった。意見の一部をこれからの事業に取り入れ、私の声が届いたと感じてもらえるようなOTACOにしていきたい。

市 様々な年代の方から意見をもらえたのは貴重だった。市民の立場に立つことが事業をする上で重要であるが、市が良かれと思ってやっていることでも、市民の望んでいることとまだ差が生じていると感じる。今後も何かあれば、気軽に意見をもらえたらと思う。地域に根差したOTACOとして、これからも可愛がってもらえたら嬉しい。

■構想日本からコメント

構 地域通貨は歴史が浅いものの、市民生活への影響は広がりうる大きな政策ツールになってきている。だから、議論で視点を集約させるのが難しかったと思う。それでも4回真摯に議論いただき、私自身も勉強になった。これからもOTACOを切り口に太田市の将来像について考えてほしい。

構 提案書のまとめ作業を主に行っていた。皆さんからいただいた意見をもとに、より見やすく、分かりやすい提案書に出来たらと思っている。

コ 今回のテーマ「地域通貨」は難しかったと思う。「健康」や「防災」は誰もが当事者になりうるが、「地域通貨」は消費行動の中で必ずしも選択しなくて良いし、経済の活性化も現状の太田市の課題でもないなので、なじみが薄かったと思う。自分ごと化す

るにはどうしたら良いか悩んだ人もいると思う。ただ、「アプリの機能を改善する」以外の意見が出たり、実際に使ってみたという声が上がったことは、自分ごと化をしてもらった証だと感じる。提案書を出して終わりではなく、これからの OTACO の変化を見てもらうことも皆さんの役割だと思っているので、引き続き協力願いたい。また、皆さんが太田愛を持っているのはすごいこと。その太田愛を OTACO に限らず、まちの「清掃」や「安全」など、途切れることなく、これからもまちの見守りや行政の自分ごと化に使ってほしい。

■記念撮影

■事務連絡